

平成 21 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 富 山 銀 行  
代 表 者 名 取締役頭取 高柳 卓三  
(コード番号 8365 名証 第2部)  
問 合 せ 先 取締役総合企画部長  
五十嵐 郁夫  
( T E L 0 7 6 6 - 2 1 - 3 5 3 5 )

### 第 3 次中期経営計画の策定について

富山銀行（頭取 高柳 卓三）では、今後 3 年間（平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月）を計画期間とする第 3 次中期経営計画を策定いたしましたので、概要をお知らせいたします。

#### 1. 第 3 次中期経営計画策定にあたって

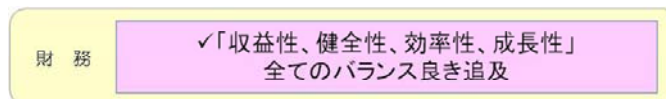
世界的な金融危機と景気後退等の要因により、当行においても進捗中の第 2 次中期経営計画の計画内容と実態が大幅に乖離することとなりました。そこで今一度態勢を建て直して引続き富山県経済の発展に貢献するためにも、また心機一転して再スタートを図るためにも、同計画を 1 年前倒しで取り止め、現状に即した形で新しく第 3 次中期経営計画を策定しました。

#### 2. 計画の名称、目指す銀行像



『富山銀行*i*プロジェクト』の「i」には、「愛（あい）」「I（アイ）」「1（ワン）」※の3つの意味が込められており、それぞれが当行の「目指す銀行像」を表現しています。  
 ※ 「i」はローマ数字の「1」を表します。

### 3. 経営の基本方針・目標



今後3年間の経営の基本方針・目標を上記のとおり設定しました。

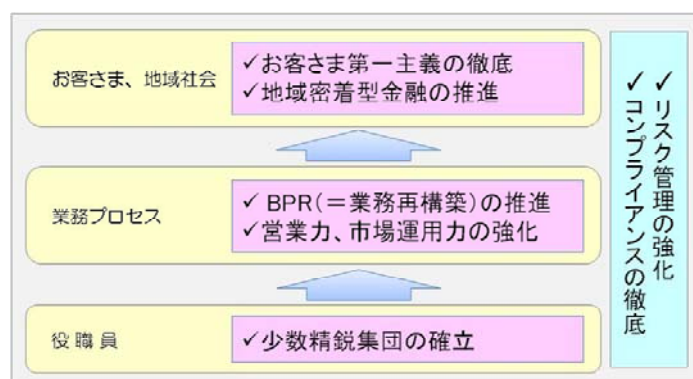
当行にとっては収益性、健全性、効率性、成長性4つの指標全ての向上が必要であり、どの指標たりとも疎かにすることは出来ません。言わば4指標は富山銀行という4WD（＝4輪駆動）車のタイヤであり、当行が前進するためには4つのタイヤ全てがバランス良く回転（機能）する必要があります。

また、4指標の向上は当行企業価値の増大に結び付きます。企業価値が増大すれば、「地域密着」「社会貢献」という道路の先にある、「とやま県経済の発展」「お客さまのご繁栄」という目的地へ向けて、当行は持続的に突き進むことが可能となります。

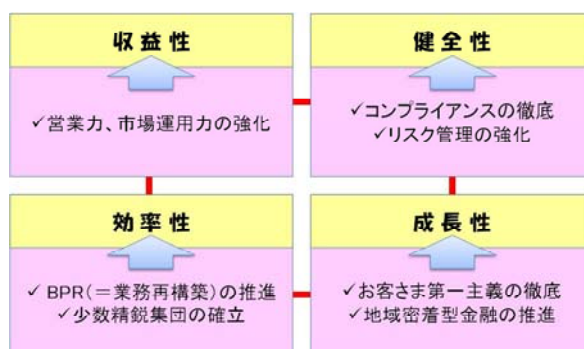


### 4. 全社戦略

全行的な戦略として、「お客さま、地域社会」に関して2つ、「業務プロセス」で2つ、「役職員」で1つ、全てに共通する2つ、合計7つの戦略を策定しました。



なおそれぞれの戦略は、経営の基本方針・目標である4つの指標に対して、下図のように結び付きます。



## 5. 主要施策

### 営業力、市場運用力の強化 (収益性)

- ・店舗役割を見直すとともに、法人・個人の戦略店への本部支援態勢（特別推進班の重点配置など）の強化を図り、お客さまとの接点を強化して繋がりをより深め、「**中小・小規模企業向け融資増強**」「**個人向け取引の強化**」「**手数料収益の増強**」に取り組んでまいります。
- ・資金関連会議の機動性を高めるなど、「**資金運用力の強化**」に取り組んでまいります。

### コンプライアンスの徹底、リスク管理の強化 (健全性)

- ・コンプライアンス・プログラム（研修計画、勉強会等）の着実な実践により、引き続き「**コンプライアンス態勢の強化**」に取り組んでまいります。
- ・適切なリスクコントロールにより安定した収益を確保できるよう、「**各種リスク管理の強化**」に取り組んでまいります。

### BPR（=業務再構築）の推進、少数精鋭集団の確立 (効率性)

- ・業務プロセスをゼロベースから見直してローコスト化（「**経費の削減**」）を図るとともに、ITを戦略的に活用して事務フローの見直しや情報共有化の推進を図り、「**営業店事務の効率化**」に取り組んでまいります。
- ・人材育成プランを見直し、係別・階層別研修を強化するなど、「**人材の育成・スキルアップ**」に取り組んでまいります。

### お客さま第一主義の徹底、地域密着型金融の推進 (成長性)

- ・お客さまアンケートを実施し、お客さまの視点に立った「**CS（顧客満足度）の向上**」「**お客さまの利便性向上**」に取り組んでまいります。
- ・地域金融機関の使命として、地域経済の活性化や中小企業の円滑化に資するよう、引き続き「**地域密着型金融の推進**」に積極的に取り組んでまいります。

6. 数値目標（＝具体的管理項目）

| 指標  | 項目          | 平成21年3月末<br>実績 | 平成24年3月末<br>目標数値 |
|-----|-------------|----------------|------------------|
| 収益性 | コア業務純益      | 7億円            | 14億円             |
| 健全性 | 自己資本比率      | 8.7%           | 9%台              |
|     | 金融再生法開示債権比率 | 4.6%           | 3%台              |
| 効率性 | OHR         | 87%            | 70%台             |
| 成長性 | 中小企業向け貸出金額  | 1,301億円        | 1,380億円          |

以 上

本件に関するお問い合わせ先

富山銀行 総合企画部 TEL 0766 - 21 - 3535

担当：森永、西尾